

国立精神・神経医療研究センター病院の 医療観察法病棟を退院された方、医療保護入院をされた方へ

このたび、国立精神・神経医療研究センター病院に医療観察法入院、もしくは医療保護入院した際の診療情報等の一部について、下記の研究に対し提供を行います。この研究では、国が定めた倫理指針に基づき、対象となる方お一人ずつから直接同意をいただくかわりに、利用目的等を含む研究の実施について、情報を公開いたします。

この研究に協力することにより、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ございませんが、ご自身の診療情報等を利用・提供して欲しくない場合は、問い合わせ窓口までご連絡ください。なお、利用・提供してほしくないと申し出られた場合でも、なんら不利益を受けることはございません。

1. 対象となる方

当院に医療観察法入院となり、2016 年 1 月 1 日より2025 年 12 月 31 日までの間に退院した全ての方と、当院に医療保護入院となり、2016 年 1 月 1 日より2025 年 12 月 31 日までの間に退院した 65 歳以上の高齢者の方

2. 試料・情報を提供する研究課題名と研究代表者又は研究責任者

研究課題名: 医療観察法入院における自宅退院の年齢層差と関連因子

研究期間: 研究実施許可受領後~2031 年 12 月 31 日まで

研究代表者(研究責任者): 国立精神神経医療研究センター病院

司法精神診療部 新田 齊久

3. 利用又は提供する試料・情報等と取得方法について

医療観察法病棟を退院された方

情報等: 血液学的検査データ、血液生化学的検査データ、頭部 CT・MRI 所見

心理検査結果 (Wechsler Adult Intelligence Scale、Mini-Mental State Examination、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等)、Global Assessment of Functioning Scale

Care Programme Approach 会議における家族参加状況、精神科診断名、身体疾患名、処方薬内容
行動制限の有無、入院期間、人口統計学的情報(年齢、性別、職業、教育歴、家族構成、婚姻状況等)

対象行為前居住形態 [自宅(独居/家族と同居)/施設等]、対象行為、犯罪歴、医療観察法処遇歴

精神科入院歴、精神疾患の家族歴、被害者との関係(家族・親戚/知り合い/他人等)、物質使用障害歴
退院後居住形態 [自宅(独居/家族と同居)/施設/病院等]

Activities of Daily Living、International Classification of Functioning, Disability and Health

(取得方法) 診療録、鑑定書、生活環境調査書、退院申立書、看護サマリより入手

医療保護入院をされた方

情報等: 頭部 CT・MRI 所見、心理検査結果 (Mini-Mental State Examination、改訂長谷川式簡易知能評価スケール等)、Global Assessment of Functioning Scale、精神科診断名、身体疾患名、処方薬内容、行動制限の有無、入院期間、人口統計学的情報(年齢、性別、職業、教育歴、家族構成、婚姻状況等)、精神科入院歴、精神疾患の家族歴、物質使用障害歴、Activities of Daily Living、暴力歴の有無
(取得方法) 診療録より入手

また、対象者の抽出、年齢算出、ならびに研究対象者等から研究利用拒否の申し出があった場合の照合のため、診療録から氏名、生年月日の情報を取得します。これらの情報は解析用データには含めず、研究用 ID を付与した対応表として、解析用データとは分離して厳重に管理します。

4. 試料・情報の利用目的及び利用方法

2005年に施行された、「心神喪失者等の状態で重大な他害行為を行った者の医療及び観察等に関する法律」(以下「医療観察法」)は、重大な他害行為を行った精神障害者に対して、再他害行為の防止と社会復帰の促進を目的として、専門的な医療および支援を行う制度です。医療観察法入院となった高齢者は認知症や身体疾患を有していることが多く、若年者とは異なる臨床的特徴を示すことが考えられます。また、家族の高齢化や受け入れ先の不足などにより、地域移行や自宅退院がより困難となる可能性があります。

そこで本研究では、医療観察法病棟を退院した全患者を年齢層別に分類し、自宅退院率や退院先の違いを明らかにするとともに、家族関与、認知機能、身体的要因、ADL、脳器質的要因などが退院転帰にどのように関連するかを検討します。さらに、高齢の医療観察法入院患者については、一般精神科病棟に医療保護入院となった高齢患者を対照群として比較し、頭部画像所見に特徴的な差異がみられるかを検討します。

本研究は、診療録、看護記録、各種検査結果、画像データ等、すでに日常診療の中で得られている情報を用いて行う後方視的観察研究です。新たに検査や介入を行うことはありません。情報を利用するには、研究計画に従い、診療情報等の個人情報加工処理を行った上で、対象となる方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱います。

5. 利用又は提供を開始する予定日

研究開始日を予定しています。

6. 問い合わせ窓口

この研究課題の詳細についてお知りになりたい方は、下記問い合わせ担当者までお問い合わせください。

機関名: 国立精神・神経医療研究センター病院

所属: 司法精神診療部 氏名: 新田 斉久

電話番号 :042-341-2711(内線:3386)

e-mail:narihisal223@ncnp.go.jp